

令和元年 12月 16日

取手市議会議長
入 江 洋 一 殿

取手市議会議員 金澤克仁

議員派遣（視察研修）報告書

令和元年11月14日付け、取議発第103号にて決定通知のありました議員派遣につきまして、下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣年月日

令和元年11月19日

2 派遣場所及び派遣目的

場所：東京都千代田区

千代田区立麴町中学校

目的：中学校教育における先進的な取り組みの視察のため

3 派遣議員

遠山智恵子・齋藤久代・阿部洋子・金澤克仁

4 視察報告

最初に授業を視察させていただきました。1年生から3年生全ての授業を見ることができました。大変活気に満ち溢れている授業が多く、生徒の生き生きとした様子が見れました。一方、少し元気が良すぎて落ち着かないようにも見えたクラスもありました。

その後、工藤校長先生の講演を聞きました。

先生は、学校は生徒たちにとって、これから生きていく社会を象徴するものだと考えているそうです。そして、前向きに社会を生きていくことのできる子どもたちを育てることを目標としています。

具体的には、「画一的な教育から多様な教育へ」多様な子どもたちに個別に最適化した教育を行うことによって多様な人材を生む教育を目指しています。

みんな違っていい。全員を大切にする。これを両立するさせることにより、民主的な考え方ができます。

そして、学校に関わる全ての人々を当事者に変え、対話を通して目標の合意形成を図り、手段を決定していく学校経営を目指しています。

教育目標は、人間尊重と相互信頼の上に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成を目指しています。

自律「自ら考え、判断し、行動する」尊重「違いを理解し、他者を尊重する」創造「豊かな発想をもち、創意工夫する」です。

また、定期試験や宿題を廃止しました。

生徒は、「手をかければかけるほど自律できなくなり、自分がうまくいかないことを誰かのせいにするようになる」ともおっしゃっていました。

取手市からも伊藤教育長、田中教育部長はじめ多くの教育委員会な職員ならびに現場の先生が視察に同行されていました。

市の教育行政を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、生徒に寄り添いながら多くの課題を解決していく必要があります。

さらには、改革できるものは改革していくために、今回の麴町中学校の取り組みについても前向きに検討していただきたいと思いました。

以 上